

わかりやすい版 ばん

だれでも

いつでも

学べる社会へ

しょうがい しょうがいのある・なしに関係なく かんけい
ともに学べる生涯学習について とも まな しょうがいがくしゅう

卒業してもたくさんある、 学びの場

▶ 私たちは、学校で長い間、学んできました。

だから、「勉強は学校でするもの」、

「卒業したら学ぶ機会はなくなる」と

考える人も多いかもしれません。

▶ でも、実は、卒業しても学び続けている人は

たくさんいます。

大人になってからも同じ趣味をもった人たちが

集まって活動をしたり、ボランティア活動をしたり、

アートやスポーツを

楽しんだりしている人がたくさんいます。



あなたの住む街にもダンスや料理、
生け花や書道、パソコンや絵画など、
たくさんの学びの場があるはずですよ。

こうして 学校以外の場でも学ぶこと、
人生を通して学び続けることを、生涯学習といいます。

▶ 新しいことを学んだり、
自分の好きなことに取り組んだりするのは、
とても楽しいですよ。

生涯学習は、こうした「楽しさ」を実現できる場です。

学校を卒業してからも
障害のある人もない人も 共に学び続けることが
できる社会を国は目指しています。



どんな活動ができるの？

地域で仲間と共に 障害者学級の活動



▶ イラストの後ろに立って、おもしろ写真を撮影。できあがった写真で写真集をつくりました。



▶ 料理のプログラム。ピザ生地からつくりました。みんな真剣です。

▶ 「青年学級」や「障害者学級」という言葉を聞いたことがありますか？

公民館や特別支援学校などで

開かれる活動で、

学校を卒業した知的障害の

ある人などが参加できます。

青年学級では、

仲間と共に料理の仕方や

家計簿の付け方など

生活に必要なことを勉強できます。

また、音楽やダンスなどを

行うところもあります。

▶ 東京都渋谷区では、

「GAYA」という青年学級が月1回、社会教育施設で開かれています。

どんな活動をするかは

月によって違いますが、

料理や雑貨をつくったり、

講師と音楽やダンスを楽しんだりと

様々な活動をしています。

時間は、11時から15時まで。

毎回60人くらいが参加して、

グループに分かれて活動しています。

GAYAでは、たくさんの学生や



▶ GAYA夏フェス。グループで宝つりや魚雷戦ゲームなどの屋台をつくって夏祭りをします。



▶ 1年間の活動のまとめの会。みんなで練習したダンスでもりあがります。

社会人がボランティアとして参加し、一緒にプログラムを体験して盛り上げています。

▶ GAYAの参加メンバーの熊澤さんは、会社で働きながら、週末はGAYAに参加します。

そのほかにも、障害のある人たちが中心となって活動(本人活動とよんでいます)する

「ぐっとあっぷがや」にも参加しています。

「ぐっとあっぷがや」では、

自分たちのやりたいことを話しあい、計画をたてて実行したり、自分たちの暮らしについて調べて、発表したりしています。

一人で暮らす

知的障害のある人に話を聞きに

いったこともありました。

▶ 青年学級は、全国に

300カ所くらいあります。

みなさんの地域で

青年学級を見つけたら、

ぜひ、参加してみてください。

どんなことが学べるの？

大学で学ぶ

オープンカレッジ東京



▶ 「大学」と聞くと、
なんだか難しそうと思いますよね？
でも、大学には いろんな人でも
参加できる 生涯学習があるのです。

▶ 東京都にある
東京学芸大学では、
「オープンカレッジ東京」という、
知的障害のある人向けの
生涯学習を行っています。

1年間で10回くらい、
大学生のように
大学に来て学習しています。

▶ この日は、
世界のお米について学びました。
大学の先生が、
ジャバニカ米、インディカ米、
ジャポニカ米の色や、形、
炊いたときの様子などの特徴を



▶ **まずは先生が世界で
 食べられているお米について
 説明してくれます**



▶ **外国のお米を触って、
 日本のお米とどう違うのか
 確かめました。**



①要素の整理と観点の命名マトリックス

	ジャバニカ米	インディカ米	ジャポニ
産地	平達町	平達町(神奈川)	平達町
特徴	粒が広く大きい	粒が細長い	粒が細く長い
炊き方	炊くがよい	炊かずに蒸す(炊飯器)	炊く(炊飯器)

▶ **お米の種類ごとに
 形や大きさがどう違うのか
 付せんに書いて貼り付けました。**



説明してくれます。
 それぞれの違いを
 図にまとめながら
 世界の食文化を
 調べることを通じて
 考える力を身につけます。
 この日の勉強は、
 3時間くらいでした。

▶ オープンカレッジ東京では、
 毎回、違った学習をします。
 別の日には、理科の実験をしたりします。
 大学の先生たちが、
 たくさんのことを教えてくれるのが
 オープンカレッジ東京の特徴です。
 障害のある人たちの
 生涯学習の場をつくらせている大学は
 東京だけでなく全国各地にあります。



じぶん
自分がやってみたい
しょうがいがくしゅう
生涯学習を
かんが
考えてみましょう

- ▶ ここまでは、生涯学習では
どんなことができるか、見てきました。
- ▶ ここでは、これから自分が
やってみたい生涯学習のことを、
いっしょ かんが おも
一緒に考えてみたいと思います。
- ▶ 自分がどんな生涯学習に
チャレンジしてみたいかかんが
考えてみましょう。
- ▶ まわ
周りにいる友達や先生などと
そうだん
相談してみてもいいですね。

▶はじめに、自分が得意なこと、好きなこと、
「これをしているときがいちばん楽しい」と
思えることを自由に書いてみましょう。



書いてみよう

ワークシートに書いてみましょう

▶ 将来しょうらいの夢ゆめや願ねがい、
「なりたい自分じぶん」について
自由じゆうに書かいてみましょう。



書いてみよう

A large, empty rectangular box with a black border and a folded top-right corner, intended for writing.

▶ 学校を卒業したら やってみたい、
チャレンジしてみたいことが あったら
自由に書いてみましょう。



書いてみよう

A large, empty rectangular box with a black border and a folded top-right corner, intended for writing.

これから どんなことを
学んでみたいですか？

▶ 得意なこと、やってみたいことは、
あなたが取り組みたい
生涯学習へのヒントになります。
どんなことを学びたいかわかったら、
ぜひ、みなさんの住んでいる街の

生涯学習の場に参加してみてください。

▶ 重い障害があって
外出が難しい人のために、
生涯学習を届けてくれる活動もあります。

▶ 参加したいけど、
どうしたらいいかわからないときは、
役所の生涯学習を担当している
ところに聞いてみましょう。

（くに）

▶ 生涯学習を

どのように進めていけばいいか、
考えたり、仕組みをつくったりします。

▶ 都道府県や市町村などが生涯学習を
進められているか調べます。

▶ 障害について

多くの人に知ってもらいます。

▶ だれでもいっしょに学べる環境を
つくることを目指しています。

都道府県や市町村

▶ 障害のある人が

生涯学習について

希望していることや

困っていることを相談でき、

それを解決できる環境をつくります。

▶ 生涯学習の情報を広く伝えます。

▶ 生涯学習をできる場が少ないなら、

施設や団体と協力しながら

学べる場所を増やしていきます。

▶ 生涯学習をどうすすめていくか

計画や目標を決めます。

それぞれの 役割





とくべつ し えんがっこう 特別支援学校など

- ▶ 生徒が「生涯学習をやりたい」と
おもうようにします。
- ▶ 卒業してからも学びつづけられるよう、
卒業したあとに行く会社や施設と協力します。

だいがく 大学など

- ▶ 障害のある人の学びの場として
期待されています。
- ▶ 障害のある学生のサポートをします。

ち い き だんたい 地域の団体など

- ▶ 生涯学習をしたい人たちのための
学びの場をつくります。
- ▶ 生涯学習の情報を役所や
ほかの団体に伝えます。

かいしゃ 会社など

- ▶ 障害のある人も仲間として
受け入れていっしょに働きます。
- ▶ 働いている人が自分の力をのばして
仕事にいかすことができるよう、
生涯学習をサポートします。



生涯学習を支える 支援者のみなさまへ

▶ 学校を卒業した後も、
身近で学べる機会はたくさんあります。
しかし、障害のある人が学べる場が十分でない、
あるいは配慮されている場が少ないのが現状です。
そのため、地域に障害のある人が
学ぶことができる機会をつくり、
伝えていくことが重要です。
同時に今あるさまざまな生涯学習の機会を障害の
有無にかかわらず共に学ぶ場とするため、
社会的な障壁を除去する配慮について、
地域に理解を広げていくことが求められています。

▶ 生涯学習は、学びたいことを学ぶ、
やりたいことをやるというものです。
そのため、障害のある人自身にも
「自分はこんな学びがしたい」と
希望を伝えてもらうことも必要です。

そして、どんな支援や配慮をしてほしいかが
具体的に伝わることで、学びを提供する側も
障害者本人も安心して
生涯学習に取り組めるようになります。

▶ 文部科学省では、障害のある人や支援団体などの
ご意見を踏まえて、
「障害者の生涯学習の推進方策について―誰もが、
障害の有無にかかわらず共に学び、
生きる共生社会を目指して―」という報告書を
平成31年3月にとりまとめました。

▶ 今後、国や地方公共団体で障害のある人の
生涯学習に関する取り組みを進めることが
期待されています。

▶ 特別支援学校では、在学中から、生徒たちの
生涯学習に興味を持ってもらえるような指導を
行っていくことが期待されています。
また、個別の教育支援計画の作成等を通じて、
特別支援学校、地域の福祉施設や企業などとの
連携を進め、卒業後も安心して
学び続けられるようにしていくことが
求められています。



だれでもいつでも まな しゃかい 学べる社会へ

文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課
障害者学習支援推進室

電話 03(5253)4111

ファクス 03(6734)3719

メール sst@mext.go.jp

あなたの街の
しょうがいしゃがくしゅうし まんたんどうまどぐち
障害者学習支援担当窓口

2020年3月 発行

イラスト 鈴木衣津子

デザイン 細山田デザイン事務所

編集 一般社団法人スローコミュニケーション

この冊子は、学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議報告「障害者の生涯学習の推進方策について―誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して―」(平成31年3月)に基づき、知的障害のある人を主な対象とした「わかりやすい版」として作成されています。